

式 辞

ここにお集まりになった皆さん、ご自宅での良き日を迎えている皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。また、お忙しい中、ご臨席を賜りました来賓の皆さまには心より感謝申し上げます。

今期、本センターのご所属では、22名の卒業生を送り出すこととなりました。

本学は教養学部一学部ですが、教養の巨人というべきゲーテの格言のなかに「学ぶには時がある」という言葉があります。

卒業生のみなさんは、年齢に関わりなく、まさにご自身に最もふさわしい時を得て入学され、それぞれのライフスタイルに合わせて学びを進められて、卒業というゴールを迎えられました。

その学びの過程は、決して平たんなものではなかったかもしれません。

学部には入学試験こそありませんが、通信制の学びは各自の自主性に任されています。毎週決まった時間に講義室に行く必要がない代わりに、自分自身で計画的に学習を進めなければなりません。

忙しい仕事の寸暇を惜しんで勉学に励まれた方々はもちろんですが、個別の学習をたゆまずに持続して、本日を迎えられた皆さん全員に深く敬意を表します。

さらに喜ばしいことに、名誉学生の称号を授与される卒業生が、今期はお二人おられます。6コース卒業の偉業を達成されたことに、心よりお祝いを申し上げます。さらに、2コース卒業の「パール賞」が2名、成績優秀賞である「ひまわり賞」については8名もの受賞者がおられます。

放送大学での学びは、大きく二つに分かれると思います。1つは、それぞれのお仕事等に関わる資格取得や、専門性を高めるための学びです。

その成果はすぐに役立ちますが、AIに代表されるような科学技術や、社会経済等に関わる知識は絶えず更新されておりますし、その速度も増すばかりです。したがって、リカレント教育を活用しての学び直しが欠かせません。

もう一つは、みなさんが純粋な知的好奇心で学ばれた、実生活にすぐ役立つものではないけれども、一生の心の糧となるような学びです。古典的な哲学や歴史、芸術・文学などに関する学びがその典型といえます。

70歳定年制も現実味を増すこの頃ですが、人生100年時代とすれば、それでも実に30年の時間が残されています。もちろん、純粋な知的好奇心で学ばれた成果は現在の人生を豊かにしますが、肩書や職責から解放された、自由な個人としての時間を機嫌よく楽しむための大きな支えとなることでしょう。

冷徹な『君主論』で有名なマキャベリは、古典的な本を読むときに、偉大な著者と会って対話することと同じだからと、正装して威儀を正したそうです。

千年たっても古びることのない哲学や文学・芸術に触れる時、私たちは時空を超えて著者や作者と出会い、畏れ多くも生涯にわたる友情を結ぶことができるのだと思います。

卒業生の皆さんにおかれましては、本学で学ばれた仕事や資格に関わる専門的な知と、一生の心の糧となるような知の双方を携えて、新たな人生の旅に出られることを、そしてその旅が無事で実り多いものでありますようにご祈念申し上げます。

旅の途中で、さらに学びを深めたいとなりました時には、異なるコースに、大学院に再び挑戦なさってください。本学の学びの扉はいつでも、全国各地のどこにでも開かれています。本日はまことにありがとうございました。

令和7年3月23日

放送大学宮崎学習センター所

長

石川 千佳子